

# 「当院における胃癌手術患者(胃全摘、幽門側胃切除)の術後在院日数に関わる栄養管理上の要因の調査」について

加古川中央市民病院栄養管理室では、現在、胃癌にて胃全摘、幽門側胃切除術を受けた患者さんを対象に研究を実施しております。

尚、この研究についてご質問がございましたら、最後に記しております【問い合わせ窓口】までご連絡ください。

## 【研究概要及び利用目的】

胃切除術をされた患者さんの在院日数が短いほど1年後の栄養状態がより良いことが分かっています。手術後の在院日数に影響する栄養管理上の要因を把握することで、より充実した栄養管理を行なえる可能性があると考えております。

## 【研究期間】

研究期間：2022年5月1日～2023年3月31日

## 【取り扱うデータおよび試料・情報の項目】

- ・2022年5月1日～2022年8月31日の間に加古川中央市民病院消化器外科において胃癌にて胃全摘、幽門側胃切除術を受けられた方の診療録より下記の情報を取得いたします。
- ・基本情報：年齢、性別、身長、入院時・退院時体重
- 疾患情報：診断名、手術内容（術式、切除部位）
- データ：術前の栄養状態（血清Alb）、入院以前の食欲不振の有無、食事開始までの日数、入院中の喫食率、術後在院日数

## 【個人情報保護の方法】

プライバシーの保護に配慮するため、患者さんの情報は直ちに識別することができないよう対応表を作成し匿名化を行い、秘密保護に十分配慮します。研究成果を報告する時も個人が識別されないように行います。この研究に参加していただいた患者さんの個人情報については、本研究に関わる全ての研究者が守秘義務を順守するように徹底いたします。個人情報を外部機関へ提供することはありません。

## 【データおよび試料提供による利益・不利益】

利益：通常の診療の範囲内で得られた情報を用いており、データをご提供頂いた患者さん個人に利益になるようなことはありません。

不利益：カルテからのデータのみ利用するため特にありません。

## 【登録終了後のデータ等の取り扱いについて】

本研究において取得したデータ等は、研究終了後も少なくとも本研究の終了報告日から5年を経過した日または本研究の結果の最終の公表について報告された日から3年を経過したいずれか遅い日までの期間、施設可能な場所で厳重に保管いたします。

プリントアウトや外部へ記録持ち出しは行いません。また患者さん及びそのご家族等から参加拒否または同意撤回の申し出があった場合は、申出のあった研究対象者に関するデータをデータベース内からすみやかに削除・廃棄します。

**【研究成果の公表について】**

研究成果は論文や学会等で発表を行うことがあります。その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

**【研究へのデータ使用の取りやめについて】**

いつでも可能です。ご自身のデータを本研究に用いたくない場合は、下記【問い合わせ窓口】までご連絡ください。研究参加の取りやめの申し出を受けた場合は、それ以降患者さんのデータを本研究に用いることはありません。ただしデータ使用の取りやめを申し出られた時点ですでに研究成果が学会発表や論文などで公表されている場合はそのデータは廃棄できません。

**【情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名】**

加古川中央市民病院 院長 大西 祥男

**【問い合わせ窓口】**

本研究に関することは下記の窓口までお問い合わせください。

加古川中央市民病院 栄養管理室

研究責任者名 井貫雅子

連絡先：079-451-5500